

「第2期基本構想実施計画 骨子案」に対する意見 とりまとめ

※ 網掛けは基本構想審議会委員からの意見

	スライド 番号	原案	修正案	修正理由	修正結果・対応	所属
1	全体			・現行実施計画の18政策と、次期実施計画の14政策の関係について説明が欲しい。(現行計画の政策、施策の展開、事業がそのように次期計画に移行しているのか。)	別途説明を検討	商工政策課
2	全体			<p>「方向性」「目指すもの」「実現するもの」「総合目標」といったゴールに関する言葉がいくつも散りばめられ、計画の目的と手段(計画の構造)がわかりにくい。構造は下記の通りか？</p> <p>① 最大の目標：「みんなが住み続けたいと思える滋賀であること、滋賀に誇りを感じ、滋賀で誰もが自分らしくそれぞれの「幸せ」を感じられること」</p> <p>② 最大の目標の達成度合いを測る指標：滋賀県政世論調査の3項目(「総合目標」)</p> <p>③ 最大の目標を達成するための手段：「健康しが」を目指して施策を進めること。</p> <p>④ 「健康しが」を目指して進める施策の</p>	ご意見を踏まえ、目指す姿を「健康しが」とし、それを測るものが県政世論調査の3項目、「健康しが」を目指して進める施策を14の柱として、前文部分の表現や項目の順番等を見直し。	健康福祉政策課

				分類：14の施策の柱		
3	全体		<u>死(生)への滋賀県としての関わりの記載。</u>	死生懇話会について、議論内容の県政へのフィードバック、あるいは引き続き懇話会を開催し、議論するのであれば、少なくとも施策の展開に位置付けておく必要はないか。	原案のまま。 ※施策の展開「みんなで熟議の滋賀県政」の具体的な文章を入れる段階で「死生懇話会」に触れる予定。	人事課
4	全体		(未知の変化が起こってきていて) 行政の運営も実験的にやるが必要になってきている。		(修正ではないが) スライド3「策定にあたって」で、しなやかに変わり続けることの記載で意識している。	基本構想審議会 (岩寄委員)
5	全体		ワクワク感を大事にした言葉のチョイスをしていただけるといい。		計画案をつくる段階でできるだけ意識。 (文章だけでなく例えば絵の挿入なども含め)	基本構想審議会 (宮本委員)
6	全体		自然・歴史・文化、あえて観光だけでやっていくのではなく大切に守ることが大事。		(修正ではないが) スライド3「策定にあたって」で、「変わらない大切なものを守ること」でそうした意識を表現しているほか、随所にご意見のような	基本構想審議会 (檀原委員)

					考えが入っているかと。	
7	3	コロナ禍の状況を踏まえ、2021年には第1期実施計画の見直しを行い、新たに生じた課題の整理や目標の見直しなども行ってきたが、社会情勢の変化に対応しきれず、ひとの健康や暮らしの安全・安心を脅かす状況があったことを謙虚に省みる必要があると認識している。		<ul style="list-style-type: none"> ・計画（見込み）である以上、事実（結果）との齟齬が生じるのは一般的。（基本構想実施計画はOODAループになっていない。） ・計画の見直しが十分できてなかったから、社会情勢の変化等に対応しきれなかったという論理は誤りでは？ ・計画の見直しと関係なく、単に変化や新たな課題に対応できなかったというのであれば分かるが。 	ご意見を踏まえ、「新たに生じた課題の整理や目標を見直しながらか施策を展開してきたが」に修正	環境政策課
8	3	とりわけコロナ禍の影響を強く受けて 目標達成が非常に厳しくなっている施策や、自殺死亡率の増加、 <u>自己肯定感を持つ小学生の割合の低下</u> など、 <u>暮らしの困難さや不安感、生きづらさ</u> や…	下線部の削除	<p>自己肯定感→滋賀では自尊感情としています。</p> <p>自尊感情を推し量る数値として、学力学習状況調査の「自分には良いところがあると思いますか」の結果を基準としています。</p> <p>令和4年の小学6年生の値は78.8%と全国平均を下回る結果となりました。また、基準となる令和元年の数値も下回っています。しかしながら、平成24年度からの10年間の数値変化では、ほぼ横ばいと捉えられますし、令和4年度は上か</p>	ご意見のとおり修正	人権教育課

				ら3番目の数値でもあります。 よって、第1期実施計画の検証に「小学生の自尊感情の低下」を盛り込むことは適切ではないと判断し、削除をお願いします。		
9	4	① <u>コロナ危機の経験</u>	① <u>新型コロナウイルス感染症の経験</u> (または <u>～感染症の影響</u>)	本文では、新型コロナウイルス感染症の流行を社会への打撃や損失といったネガティブな側面だけでなく、新たな光を見出すといったポジティブな側面も記載し、転換期としてとらえているため、コロナ「危機」というネガティブな小見出しは相応しくないのではないか。	「新型コロナウイルス感染症の流行」に修正	人事課
10	4	地球温暖化による気候変動は、 <u>自然環境への影響だけでなく</u> 、自然災害や健康被害、生態系への影響等、様々な課題を引き起こしており、	「自然環境への影響だけでなく」を削除	「自然災害」や「生態系への影響」は「自然環境への影響」と重複しているのではないか。	原案のまま ※CO ₂ ネットゼロ社会づくり推進計画の表現と合わせているため。	人事課
11	4	滋賀県では・・・「滋賀県CO ₂ ネットゼロ社会づくり推進計画」に基づいた施策を <u>展開していく</u> 。	<u>展開していくこととした</u> 。	「第1期計画策定後の大きな社会の変化」の項目にもかかわらず、今後の滋賀県の施策展開の決意のような記載になっており違和感があるため、「社会情勢の変化」の記載らしい表現にする。	ご意見のとおり修正	人事課

12	5、16	コロナ禍で「ひと」と「ひと」の関わりが困難な状況が多くみられた中であっても、・・・未来を拓く光である「子ども」。「子ども」を大切に育み、「子ども」の思いや発想を大事にしながら・・・	「 」を削除する。あるいは全編にわたって「 」を付ける。	この箇所だけ「ひと」「子ども」に対して括弧が多用されているが、他のページで「人と人とのつながりの持ちにくさ・・・」や「安全・安心な環境の中で子どもが生まれ育ち・・・」という記載があり、括弧付きの「ひと」と人の使い分けがされているのか不明瞭。	原案のまま ※明確な使い分けはないが、理念的なことを書いている部分では少し強調する意味合い。また「 」がないと読みにくいため。	人事課
13	5	子ども・子ども・子ども	子ども時代、子どもを生む、子どもを育む、それぞれの視点や、子どもが自分らしい幸せを見つけていけるのが重要。そういったことが「ひとづくり」として表現できれば		(修正ではないが)大切な視点「子ども・子ども・子ども」の説明文でご意見のような考え方を意識	基本構想審議会 (谷口委員)
14	5	(3)全部局で取り組む「CO ₂ ネットゼロ社会」	(3)全庁を挙げて取り組む「CO ₂ ネットゼロ社会」づくり	・全部局の対外的な用語は、一般的には全庁。 ・「社会」で終わると意味が通じない。	ご意見のとおり修正	環境政策課
15	5など	ひとの健康 人の健康	ひとの健康で統一	大切な視点「ひとづくり」と合わせる。 また、R4 予算公表資料では「ひとの健康」であった。	ご指摘のとおり修正	行政経営推進課 総務課

16	5, 8, 17	あらゆる施策の基盤づくりとしての「DX推進」	あらゆる施策の〇〇としての「DX推進」 ※〇〇には、基本となる考え方や姿勢といった言葉で、貴課の考えに合うものにしていただければと思います。	DX推進を基盤づくりと言うのに違和感があるため	あらゆる施策で可能性を検討するDX推進に修正	DX推進課
17	5, 8, 17		DXは手段。目的と手段ははっきりわかる必要がある。		スライド8のイメージ図で「DX推進」を他の3つの視点とトーンを変えて記載。また、スライド5、17の「DX推進」についての文章中に「手段として」という文言を追加。	基本構想審議会 (宇都宮委員) ※酒井委員も類似のご意見
18	5, 17	(4)あらゆる施策の基盤づくりとしての「DX推進」 あらゆる施策を推進するうえで、暮らしを健康でより豊かにし、地域社会の持続的発展につながる新たな価値創造のためのDX化の可能性を検討し、柔軟に取り入れるとともに、業務の効率化や質の向上等に向け	(4)あらゆる施策の基盤づくりとしての「DX推進」 暮らしをより健康的で豊かにし、地域社会の持続的発展につながる新たな価値を創造するため、あらゆる施策を推進する上で、デジタル技術活用の可能性を検討し、柔軟に取り入れてい	DXの中に価値創造が含まれていると考えられることから、DX化ではなくデジタル技術活用が適切ではないか。業務の効率化に、デジタル技術を積極的に活用することは重要と考えるが、それありきではないこと、また、効率化の前にそもそも業務の必要性から検討すべきものであるから、文末は削除。	ご意見の趣旨のとおり修正 (修正案の文に「手段として」という文言を追加)	行政経営推進課

		たデジタル化を図る。	く。			
19	5、6	4. 施策の展開 5. 目標の設定 6. 第2期実施計画の推進にあたって	記載順序を次のように変更 4(2) 政策の方向性(政策の柱) 5. 目標の設定 6. 第2期実施計画の推進にあたって 4(1)(3)(4) 全体に通じる視点	「4. 施策の展開」の項目立ては、第4章「全体に通じる視点」と同じほうが分かりやすいと思います。 また、「6. 第2期実施計画の推進にあたって」には、全体を通じた理念のようなことが記載されており、個々の「視点」の前に置く方が適切ではないかと思えます。	ご意見のとおり、政策の方向性を、全体に通じる視点より先に置き直し 「6. …推進にあたって」については、前文の総括的な意味合いから原案のまま最後に置いている。	広報課
20	6	5. 目標の設定	「4. 施策の展開」の前に「5. 目標の設定」を置く。	まずは目標が提示され、その後に実現手段として施策(とその展開)が記述するほうが分かりやすいのではないかと。	ご意見のとおり修正	健康福祉政策課
21	6	5. 目標の設定		総合目標として示されている滋賀県政世論調査の3項目の結果はアンケートの集計データに過ぎず、県政の目標として位置づけられることに違和感がある。アンケート結果の向上に寄与しないが重要な施策、県政とは関係ないがアンケート結果に強く影響する要因も存在することが考えられる。 世論調査の結果は進捗状況を図る「目標値」「指標」との位置づけが適切では。	3項目は「目指す姿」というイメージに捉え直し	健康福祉政策課

22	6	3つの総合目標		<ul style="list-style-type: none"> ・10年間の長期計画であればまだしも、4年間の計画でこの3つの総合指標の数値の推移を追うことで計画の実施成果が測れるのか？4年間では年度によりそれほど増減がないのでは？ ・変わったとしても、それが県の各種施策実施による影響といえるほどの因果関係・関連性はないのでは？そもそも県の施策実施だけに影響される指標ではない。 ・目標として設定するのであれば、数%増減したから要因分析をとるが、後付け以外に理屈を整理できないのではないか。なぜ増減したか（特に施策実施による増減）の分析は非常に困難。 ・「思う」「感じる」の主観的な指標は、調査客体が毎年度同じ人でない限り、標本数や調査統計手法によっては、多少の増減があるのが当たり前。 ・今回の骨子案自体に記載はなかったが、総合目標にぶら下がる政策目標については、主観的な指標「感じている」を原則にする必要は特にはないのでは？県の各種施策実施による影響といえるほ 	<p>一旦は原案のまま</p> <p>※3つの総合目標は、数値の推移がそれほど出ないことはご指摘のとおりで、その数値で成果を図るイメージではない。</p> <p>究極目指しているのは何かという目標の共有という意味合いが強く、それを目指して個別の事業を展開していくもの。成果は個別の事業の達成等で測るイメージ。</p> <p>ただし目標の設定については、色々ご意見があるところだと思うので、今後の議論で検討。</p>	環境政策課
----	---	---------	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------

				どの因果関係・関連性が言えない場合がある。事業成果を図るには、原則としては客観的な KPI が望ましい。		
23	6、8	「感じている幸せの度合い」 感じている幸せの度合いの平均		適切な表現に統一すべき	ご指摘のとおり表現を統一	総務課
24	6	目標の設定	幸せや住み続けたいなど、なぜそう思ったのかを追うのが必要。		来年度以降の県政世論調査の項目や、具体的な事業の中で検討	基本構想審議会 (平山委員)
25	6	滋賀に誇りを持っている人の割合		滋賀を誇りに思うには、子どもたちが地域のいいところを知る体験が大切。	政策3の「生きる力を育む教育」にも関連するが、今後、他の分野も含めて、具体的な事業を設定する段階等で検討	基本構想審議会 (山川委員)
26	6	おかげさま、おたがいさまで1人1人の“自分らしき”が大切にされ、お互いの“自分らしき”も大切にできる滋賀。	「おかげさま」「おたがいさま」で <u>社会がつながり、一人ひとりの“自分らしき”</u> が大切にされ、お互いの“自分らしき”も大切に <u>する</u> 滋賀。	原案ですと「おかげさま、おたがいさま」が直接に各自を尊重するように読めますが、相手への感謝や助け合い、連帯感のある社会の中で、各自が尊重されるという趣旨だと思いますので、言葉を補うほうがよいと考えます。 また、「1人1人」は「一人ひとり」に	ご意見のとおり修正	広報課

				修正。 さらに、「大切にできる」は、「大切にす る」の方が自然だと思います。		
27	6	そんな滋賀らしさでずっと暮 らせる地域づくり、それが未来 にも続く滋賀、そんな「健康し が」を目指して	そんな滋賀でずっと暮らせ る、そんな滋賀が未来にも 続くよう、「健康しが」の実 現を目指すこととし、	①「そんな」「それが」「そんな」と指示 語が3つ続くのは避ける方がよいと考 えます。 ②「滋賀らしさ」という直前の文章の内 容は、滋賀に特有のものとは言えないと 思います。 ③「それが」は「ずっと暮らせる地域づ くり」を指すと読めますが、「地域づく りが未来にも続く」となってしまう。 ④「健康しが」と「自分らしくずっと暮 らせる滋賀」の関係がより分かるように 書いてはいかがでしょうか。	ご意見の趣旨のとお りに修正	広報課
28	6	生も死も育も楽も学も病も老 も夢も幸もぜんぶ、ずっと滋賀		好みの問題とは思いますが、語呂や文字 列の見た目に対して違和感があります。 列挙されているものが「人生のあらゆる 場面」と理解すると、例えば「人生まる ごと、ずっと滋賀」のように短い言葉で 表現する方がキャッチフレーズとして 望ましいのではないかと考えます。	色々ご意見あるところ だと思うが、一人ひ とりの人生になぞら え、人生には様々な場 面があり、それぞれの 場面を見た取組が必 要であることを表現 するため、あえて原案 のまま	広報課

29	6	生も死も育も楽も学も病も老も夢も幸もぜんぶ、ずっと滋賀		<ul style="list-style-type: none"> ・見やすく、理解しやすい表現に変更すべき。 ・「～も」が多すぎて(全体として長すぎて)、またすべて1文字であるため分かりづらいし、かなり見にくい。パッと見たときに、頭に入らない。(文字の特性や順番に特に規則性がないため、さらに見にくい。せめて生老病死の順にするだけでも意味が通じて見やすくなるが) ・コピーライティングについては、職員だけで考えるのではなく、プロである広報課のアドバイザーの助言も得た方がいいかも。 	色々ご意見あるところだと思うが、一人ひとりの人生になぞらえ、人生には様々な場面があり、それぞれの場面を見た取組が必要であることを表現するため、あえて原案のまま	環境政策課
30	6	生も死も育も楽も学も病も老も夢も幸もぜんぶ、ずっと滋賀	すごく長いが、思い切り短いか、いっそもっと長くするとより滋賀らしさ(独自性)が出ておもしろいのでは		一旦原案のまま。今後の議論で検討。	基本構想審議会(今井委員)
31	8	計画全体イメージ	計画の構造をイメージできるものに改める。 例えば、目標は「みんなが住み続けたいと思える滋賀であること、滋賀に誇りを感じ、滋賀で誰もが自分らしくそれぞれの「幸せ」を感じ	スライド6「5. 目標の設定」には『「健康しが」の実現により達成したいことは…』とあり、「健康しが」のより上位に目標が存在することが示されているが、スライド8においては渦の中心に「健康しが」があり、「健康しが」が最上位の目標に感じられるイメージになっている。	ご意見を踏まえ、目指す姿を「健康しが」とし、それを測るものが県政世論調査の3項目、「健康しが」を目指して進める施策を14の柱として、前文部分	健康福祉政策課

			<p>られること」であり、その進捗度合いを示す「指標」が滋賀県政世論調査の結果であり、実現手段が「健康しが」であることを示す。 表現例をアイデアを別紙に示す。</p>	<p>「健康しが」と「総合目標」の関係も不明</p>	<p>の表現や項目の順番等を見直した</p>	
32	8	<p>図の真ん中 ×自分らしさ</p>	<p>削除</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ健康しがと「自分らしさ」が掛けられるのか？ 健康しがだけでいいのではないか。 ・この実施計画に通底する基本コンセプトとして「自分らしさ」はないのではないか（少なくとも読み取れない。政策5にはあるが、あくまで政策目標の一つに過ぎない） ・自分らしさを出すのであれば、計画上の基本コンセプトであることが明らかに分かるようにすべきでは。 	<p>原案のまま ※それぞれの「幸せ」を感じられている姿を目指すというイメージを前文で記載している。 ただ、ご意見あるところだと思うので今後の議論で検討。</p>	<p>環境政策課</p>
33	8	<p>イメージ図の黒い矢印の先の言葉</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・黒い矢印の先にそれぞれの健康（人の健康、社会・経済の健康、自然の健康）があるべき。 ・それらが相まって「健康しが」を形成するため、一番真ん中に「健康しが」があるというのが、概念図としては正確なのでは。 	<p>ご意見を踏まえ「ひとの健康」など3つの健康の記載位置を変更。</p>	<p>環境政策課</p>

34	8	左上 「ひと」のちから、担い手が 各分野で大事にされ、育つ施策	全ての施策の基盤となり、 地域や産業を支え、未来を 拓く「ひと」への投資	特に「各分野で大事にされ」という受け 身の表現は違和感がある。	ご意見を踏まえ「全て の施策の基盤であり、 未来を拓く「ひと」の ちから」に修正	環境政策課
35	8	計画全体イメージの「政策目 標」	「政策目標」ではなく「総合 目標」ではないか		ご意見のとおり修正	環境政策課
36	8	政策 14 農山漁村の持つ多面的価値の 次世代への継承（やまの健康 2.0）	政策 14 森林、農山村の多面的機能 の継承（やまの健康 2.0）	スライド 14 の文言と合わせる。 「やまの健康」では漁村は想定していな い（中山間地域を想定）。	ご意見を踏まえ、文言 を合わせるとともに、 「やまの健康 2.0」を 政策柱のタイトルか ら削除。	森林政策課
37	8、14	政策 14 農産漁村の持つ多面 的価値の 次世代への継承（やまの健康 2.0）	政策 14 森林、農山村の多 面的価値の継承（やまの健 康 2.0）	14 ページのタイトルとあっていない。 ※政策 4 も 14 ページと合っていない。	ご指摘のとおり誤字 修正と名称統一	環境政策課
38	8、14	P8 政策 14 農産漁村の持つ多面 的価値の次世代への継承（やま の健康 2.0） P14	政策 14 森林、農山村の多 面的価値の継承（やまの健 康 2.0）	P8 は誤字を修正。また、名称が統一され ていません。	ご指摘のとおり誤字 修正と名称統一	広報課 農政水産部

		政策 14 森林、農山村の多面的 価値の継承(やまの健康 2.0)				
39	10 政策 1	政策 1 「先を見据えた感染症 対策」	政策 1 については、政策 2 の「からだところの健康」 に含め、政策 1 の「目指す方 向性」については、政策 2 の 「目指す方向性」に原案ど おり併記する。政策 1 の「施 策の展開」については、「感 染拡大防止対策」および「相 談窓口の充実」を削除し、 「感染症危機管理対応の強 化」のみとしたうえで、政策 2 の「施策の展開」に併記す る。	コロナ対応については、今年度中または 次年度の早い段階で収束する可能性も あり、当該計画が 4 年計画であることを 考慮すると、1 番目に政策の柱として特 出しではなく、政策 2 の中に含めて記載 してはどうかと考える。なお、政策 2 の 「目指す方向性」の中にも「感染症拡大 などの突発的な事態の発生時にも・・・ 体制強化を図る」と一部重複する内容が 記載されている。 また、施策の展開「感染拡大防止対策」 「相談窓口の充実」は「感染症危機管理 対応の強化」に含まれるものとする。 当課のイメージとしては下記のとおり。 ○感染症危機管理対応の強化 (1)新型コロナウイルス感染症への対応 (感染拡大防止対策、相談窓口の充実等 を含めた現在の新興感染症対策を指す) (2)先を見据えた感染症に強い体制づく り (今後の新興感染症に備えた対策を指 す)	ご意見のとおり修正	感染症対策課

40	10 政策 1	主な関連部局：商工観光労働部	削除	コロナ禍についての当部の役割は、 <u>政策</u> <u>10</u> に記載されているため。	ご意見のとおり修正	商工政策課
41	8、10 政策 2	政策 2 からだところの健康	政策 2 からだところの健康づくり	「政策」ですので、他の項目と同じように「健康づくり」とする方が適切と考えます。	ご意見のとおり修正	広報課
42	10 政策 2	からだところの健康	健診受診率は年代や市町によって差がある。健診受診率よりもっと踏み込んだ目標設定が必要か		今後、具体的な事業やその目標を設定する段階で反映できることがあるか検討	基本構想審議会 (高力委員)
43	10 政策 2	施策の展開 ○介護予防・フレイル対策の強化 ○高齢者の暮らしを支える体制づくり、ケアの充実	施策の展開 統合して ○高齢者の暮らしを支える体制づくり に	・原案はいずれも修正後案「高齢者の暮らしを支える体制づくり」に集約されるものであり、重複していることから修正をお願いします。 ・なお、介護予防・フレイル対策は主に市町の取組であり、その支援についても体制づくりに包含される。	ご意見のとおり修正	医療福祉推進課
44	10 政策 2	政策 2 ○適切で質の高い、持続可能な医療体制の構築	○適切で質の高い、持続可能な医療・福祉を提供する体制の構築と人材の確保	「医療体制」は制度や仕組をイメージさせるため、医療福祉人材確保について明示するため。	ご意見を踏まえ「適切で質の高い、持続可能な医療・福祉を提供する体制の構築と人材の確保・育成・定着」に修正	健康福祉政策課

45	10 政策 2	○滋賀の医療福祉を支える人材の育成・確保と働き続けることができる環境づくり	○滋賀の医療福祉を支える人材の確保・育成・定着	・レイカディア滋賀高齢者福祉プランでは「確保・育成・定着」と記載しており整合を図るため修正をお願いする。 ・なお、原案の「働き続けることができる環境づくり」には「育成」も含まれ、語句が重複すると考える。	ご意見を踏まえ「適切で質の高い、持続可能な医療・福祉を提供する体制の構築と人材の確保・育成・定着」に修正	医療福祉推進課
46	10 政策 2	【目指す方向】 ○文化芸術活動・スポーツを楽しむ機会や環境・・・・・・・・	○文化・スポーツを楽しむ機会や環境・・・・・・・・	文化芸術だと文化財の保全、活用が含まれないため	ご意見のとおり修正	文化スポーツ部
47	10 政策 2	－	○「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」の開催を契機として、県内のスポーツ施設の計画的な整備・充実を行うとともに、競技力向上やスポーツを通じた健康づくりへの取組の促進等レガシーの創出を図る。	第 2 期の期間中に開催する県を挙げての一大事業であり、明確に位置付ける必要がある。	ご意見のとおり修正	文化スポーツ部
48	10 政策 2	【施策の展開】 ○文化財の保全と活用 ○“近江の城 1300”の魅力発信	○文化財の <u>保存</u> と活用 ○“近江の城 1300”の魅力発信 を削除	文化財保存活用大綱において、「文化財の保存と活用を一層推進していく(p32)」としており、表現を統一する。また、他の項目が大括りの中、近江の城だけが具体的であり、また文化財施策の展開に含めることができるため。	ご意見のとおり修正	文化スポーツ部

49	10 政策2	【施策の展開】 ○スポーツを楽しむ環境づくり	○「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」を契機としたスポーツを楽しむ（「する」「みる」「支える」）環境づくり	施策展開の方向性をより明確に示すため。 第2期の期間中に開催する県を挙げての一大事業であり、明確に位置付ける必要がある。	ご意見のとおり修正	文化スポーツ部
50	10 政策2	（「施策の展開」に項目を追加）	○“食べる”健康の推進	「食」からの健康づくりを明記	ご意見のとおり修正	農政水産部
51	10 政策2		国スポ・障スポの記載がないのが気になる。2025年だけが重要なのではなく、その前後も大事。		国スポ・障スポに関する施策等を明記（追加）	基本構想審議会 （岡本委員）
52	10 政策2		文化芸術を支える人たちや機関が大事。芸術に携わる人たちが相談したりサポートしてもらえる役割や窓口があれば。		今後、具体的な事業を設定していく段階等で反映できることがあるか検討	基本構想審議会 （藤野委員）
53	11 政策3～5	政策3、政策4、政策5の一部の「施策の展開」の記載が、「目指す方向性」のキーワードを箇条書きにしたものになっている。	目指す方向性には「安心して出産・子育てできる社会の構築」など少し大きな方向性を記載する。 あるいは、施策の展開の箇所には、もう少し具体的な	他の箇所にもキーワードだけを箇条書きにしたような記載が見受けられるが、「施策の展開」には具体的な施策がイメージできる記載をするべきではないのか。 他の政策では、具体的な政策がイメージ	ご意見を踏まえ一部修正	人事課

			施策がイメージできるものを記載する。	できる文章もあり、ばらつきがある。		
54	11 政策5	○「自分らしさ」を大切にし、居場所がある共生社会の実現	○誰もの「自分らしさ」が大切にされ、居場所があり、活躍できる共生社会の実現	多文化共生推進プランでは、多様性を生かして活躍できる地域社会を目指すことを目標としており、働き方の観点以外でも「活躍」の視点を盛り込んでいただきたいため。	ご意見のとおり修正	国際課
55	11 政策5	政策5「自分らしさ」が大切にされる共生社会づくり	政策5「自分らしさ」が大切にされ、誰もが活躍できる共生社会づくり	目指す方向性に記載するフレーズを引用	ご意見のとおり修正	労働雇用政策課
56	11 政策5		ジェンダー平等、ぜひ入れてほしい。		「ジェンダー平等」という文言ではないが、政策4の施策の展開に「女性活躍の推進」を追加。また「共生社会」や「人権尊重の社会づくり」に同様の考え方が含まれる。	基本構想審議会 (檀原委員)

57	11 政策5	○誰もが活躍できる多様な働き方の推進	○誰もが活躍できる多様な柔軟な働き方の推進	「柔軟」：やさしさも必要というというニュアンスの追記。	ご意見のとおり修正	労働雇用政策課
58	11 政策5	○学び直しや再挑戦しやすい環境づくり	○学び直しや再挑戦や異分野・異業種への参入がしやすい環境づくり	「再」に併せて 「新」や「異」の観点も必要。	ご意見のとおり修正	労働雇用政策課
59	11 政策5	—	○女性活躍の推進		ご意見のとおり修正	女性活躍推進課
60	11 政策5	—	○産業のひとづくりの推進	産業の人づくりについての言及が必要。	ご意見を踏まえ、「政策8 コロナ禍からの経済回復、経営の強化と次世代の産業の創出」の政策柱の中に追加 ※人の学びに焦点を置くとご意見のとおり政策4「自分らしさ…」の施策になるが、政策8に置き、産業に「触れる」「学ぶ」「つなぐ」という目指す方	労働雇用政策課

					向性のところでそのニュアンスを表現。	
61	11 政策5		生涯にわたる学びのところで、大人の継続的な学びというのがあるとよい。働く場での学び、学ぶ場での人権尊重。		今後、具体的な事業を設定する段階等で反映できるか検討。	基本構想審議会 (小坂委員)
62	11 政策5		他者の幸せ・不幸せに対するの影響力の大きい人、立場の強い人が、人との関わり方について学ぶ場が大事ではないか。働く時間を幸せに。		今後、具体的な事業を設定する段階等で反映できるか検討。	基本構想審議会 (水野委員)
63	11 政策5		「働くことへの再挑戦」というのもあるといい。		広い意味では「再挑戦」に含まれるか。今後、具体的な事業を設定する段階等で反映できるか検討。	基本構想審議会 (宮本委員)
64	11 政策5		共生社会は大きな概念なので政策5に入れるのは難しい。		ご指摘のとおりではあるが、一定「共生社会づくり」を主眼においた施策の展開が必	基本構想審議会 (谷口委員)

					要であり原案のまま。ただ前文部分で、理念的に共生社会に通じる表現を多用している。	
65	12 政策6	政策6 暮らしを支え豊かにする基盤づくり	<p>①社会インフラ整備・維持管理と、それ以外の分野を分離するとともに、行政経営方針との整理（すみ分け）が必要。</p> <p>②主な関連部局に農政水産部を加える。</p>	<p>①広報の取組に関しては、現在、行政経営方針に盛り込まれており、基本構想実施計画には記載していません。次期行政経営方針においても滋賀県広報戦略に基づく取組を盛り込む形で素案まで検討が進められており、基本構想実施計画にも重複して書き込む必要はないと考えます。</p> <p>また、政策6の対象分野が非常に多岐にわたるため、「政策目標」の設定や、毎年度の実施状況の評価が難しいと考えます。</p> <p>②社会インフラに農業水利施設等も含まれます。</p>	<p>広報の取組の記載を削除。</p> <p>主な関連部局に農政水産部を追加。</p> <p>※ただし、この政策柱に限らず関連部局は計画案の段階で内容を踏まえて見直すことがある。</p>	広報課
66	12 政策6		<p>滋賀県の色んな世代の声を聴くという姿勢はすごい。そういう姿勢をもっと尖った施策につなげてほしい。</p>		<p>（修正ではないが）政策5「暮らしを支え豊かにする基盤づくり」の中の「熟議」でそうしたニュアンスを表現</p>	基本構想審議会（高須委員）

67	12 政策6		知事が審議会で示したキーワードの「自治と民主主義」のトーンが弱いように思う。(広域自治体である県がどこまで関わるかは判断がわかれるところだが。)		(修正ではないが) 政策5「暮らしを支え豊かにする基盤づくり」の中の「熟議」でそうしたニュアンスを表現	基本構想審議会 (相川委員)
68	12 政策6		滋賀をつくるには「自治」が大事で、個人・企業・NPO・大学など対話のプロセスが重要。自治をどこかに入れてなくていいか。		(修正ではないが) 政策5「暮らしを支え豊かにする基盤づくり」の中の「熟議」でそうしたニュアンスを表現	基本構想審議会 (平山委員)
69	12 政策6	(政策の追加)	施策の展開に下記を追加 ○暮らしを支えるセーフティネットの充実	生活困窮者などらしのセーフティネットに関わる施策が明示的に読み取れるよう追記	ご意見踏まえ、施策の展開に追加。 ただ、政策6「基盤づくり」ではなく、「共生社会」づくりの柱に追加。	健康福祉政策課
70	12 政策7	○空き家の発生予防・利活用の促進	○空き家の発生予防・利活用と管理不全空き家の除却の促進	今後県内の世帯数が減少に転じようとしている中で、利活用が見込めない空き家については、周辺住民の安全安心が脅かされないよう除却を促進していくため。	ご意見のとおり修正	住宅課

71	12 政策7	安全・安心な地域づくり	政策7「安全・安心な地域づくり」を、「地域特性にあったコミュニティづくりと地域づくり」にしてはどうか。		「安全・安心」は行政として極めて重要なため、原案のまま。	基本構想審議会 (相川委員)
72	12 政策7	災害に強い地域づくり	災害に強い地域づくりは、災害に「も」強い地域づくりとした方が良いと思う。		ご意見のとおり修正	基本構想審議会 (相川委員)
73	12 政策8	持続可能な交通まちづくり	これから、免許保有割合の高い団塊世代が、一気に免許返納する時代がくることを考える必要がある。		今後、具体的な事業を設定する段階や、実際の交通政策の展開の中で検討されると想定	基本構想審議会 (岩寄委員)
74	12 政策8	持続可能な交通まちづくり	「持続可能」は大変重要だが、ともすると、今あるものをなんとか維持すると捉えられる。暮らしを支え豊かにするというようなより前向きなニュアンスに言い換えた方が良い。		政策の柱を「人々の幸せと地域の健康を支える交通まちづくり」に修正	基本構想審議会 (宇都宮委員)

75	12 政策 8	持続可能な交通まちづくり	目指す方向性の「費用負担も含めた」のところは、「支え合うための仕組み」というニュアンスの方がよい。		「費用面で支え合う仕組みも含めた」に表現を修正	異本構想審議会 (宇都宮委員)
76	13 政策 9、 10		(特に) 政策 9 や政策 10 での SDGs への言及は必要ないか。	基本構想において特に経済の分野で SDGs の理念の浸透を目指していたことが後退したように映るため。	原案のまま。 ※基本構想そのものが SDGs 達成を目指すものであり、骨子案では特に入れないが、今後、計画案を作成する段階で SDGs の視点を明記するか検討	人事課
77	13 政策 9	—	目指す方向性に「●コロナ禍で大きな打撃を受けた経済の回復を図る。」を追加	産業振興において、コロナ禍からの経済回復に取り組んでいるため。	ご意見のとおり修正	商工観光労働部
78	13 政策 9	<u>新しい滋賀の高専づくりの準備促進</u>	<u>新しい滋賀の高専づくり</u>	高専は 2027 年に開校予定のため、実施計画期間(2023～2026 年)をとおして「準備促進」では遅いのではないか。	ご意見のとおり修正	人事課

79	13 政策9	政策9「事業承継と次世代の産業の創出」	政策9「コロナ禍からの経済回復、経営の強化と次世代の産業の創出」	<ul style="list-style-type: none"> ・産業振興において、コロナ禍からの経済回復に取り組んでいるため。 ・事業承継は、ひとつづくり（人材確保、人材育成）や起業の支援等と並ぶ一つの施策であり、タイトルに掲載するのであれば、それらを包括する経営力の強化が適当と考える。 <p>【経営基盤の強化】 中小企業活性化条例第8条の3</p>	ご意見のとおり修正	商工政策課 中小企業支援課
80	13 政策9	目指す方向性の記載	—	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す方向性と施策の展開の記載が重複しているため、記載内容の整理が必要。 	ご意見を踏まえ目指す方向性の記載内容を一部修正	商工政策課
81	13 政策9	●移住による就業の支援や～	●移住による就業や～	<ul style="list-style-type: none"> ・「～支援を充実させる。」と語句が重なるため整理。 	ご意見のとおり修正	商工政策課
82	13 政策9	●多様な経営手法	—	<ul style="list-style-type: none"> ・「多様な経営手法」の意味するところが不明瞭なため、より明確な表現に修正されたい。 	「多様な経営手法」を削除	商工政策課

83	13 政策9	●～世界の潮流を踏まえた産業の創造を図る。	●～世界の潮流を踏まえた産業創造（誘致）を図る。	・知事マニフェストの表現に合わせる。	ご意見のとおり修正	企業立地推進室
84	13 政策9	○人材の確保と経営の強化・事業承継	○人材の確保と事業承継	・経営基盤の強化に関わる施策として、人材の確保、事業承継があるため。	ご意見のとおり修正	中小企業支援課
85	13 政策9	○世界の潮流を踏まえた産業の創造	○世界の潮流を踏まえた産業創造（誘致）	・知事マニフェストの表現に合わせる。	ご意見のとおり修正	商工政策課
86	13 政策9	○起業（人）の支援	○起業の支援	・（人）の意味が不明のため、削除。	ご意見のとおり修正	中小企業支援課
87	13 政策9	—	○先端技術を活用したイノベーションの創出	・先端技術を活用したイノベーションの創出が求められているため。	ご意見のとおり修正	商工政策課
88	13 政策9	○農業・林業・水産業・畜産業の担い手の育成・確保	政策9から削除し、政策11に記載		ご意見のとおり修正	農政水産部

89	13 政策 9.11	政策 9 の展開例の農林水産畜業の担い手		<ul style="list-style-type: none"> ・展開例を見ていると、主に政策 9、10 が第 2・3 次産業、政策 11 が第 1 次産業というイメージか？ ・展開例の農林水産畜業の担い手は政策 11 ではないか。 	政策 9 から削除し、政策 11 に記載	環境政策課
90	13 政策 9		人材育成のところで、子どもにモノづくりへの興味を持ってもらう施策を入れてもらえれば。高専を明記されているのはありがたい。		(修正ではないが) 産業に「触れる」「学ぶ」「つなぐ」機会や環境の創出などにより次世代の産業を支える人づくりにつながる施策を推進、という目指す方向性のところで表現	基本構想審議会 (清水委員)
91	13 政策 10	政策 10 コロナ禍からの経済回復と活力づくり		政策 9 と記載が重複するため、複数部署の施策の展開を包含する適当な政策名を検討されたい。	もとの政策 10 のうち中小企業支援等にかかる施策を移動させ、残る施策の柱をまとめて「政策 9 滋賀らしいツーリズム(シガリズム)の推進と地域の活力づくり」に修正。	観光振興局

92	13 政策 10	コロナ禍からの経済回復と活 力づくり	コロナ禍からの経済回復と 地域の活力づくり	何の活力か不明	ご意見のとおり修正	市町振興課
93	13 政策 10	～コロナ禍を経て加速化した 仕組み等を活用した仕組みづ くり		・文章の意味が不明瞭であるため、よ り明確化した表現にされたい。	「コロナ禍によるデ ジタル化の進展など を活用した地域の活 力づくり」に修正	商工政策課
94	13 政策 10	～コロナ禍を経て加速化した 仕組み等を活用した活力づく り	コロナ禍によるデジタル化 の進行や、人々の意識・生活 様式の変化に即した地域の 活力づくり	コロナ禍を経て加速化した仕組み等 が何を指すのか不明（修正案のようなこ とを指すのか？）	「コロナ禍によるデ ジタル化の進展など を活用した地域の活 力づくり」に修正	市町振興課
95	13 政策 10	●～滋賀らしいツーリズムの 推進	●～滋賀らしいツーリズム （シガリズム）の推進	滋賀らしいツーリズムであるシガリス ムを明記。	ご意見のとおり修正	観光振興局
96	13 政策 10	○中小企業活性化推進基金の 活用等による支援	政策 9 → 政策 10 に移動の 上、中小企業活性化施策の 推進 に修正。	・産業振興の政策として、分類するのが 適当。 ・中小企業活性化推進基金を充当する事 業は限定的であることから、中小企業活	ご意見のとおり修正	中小企業支援課

				性化施策の推進が適切と考える。		
97	13 政策 10	○地場産業の技術力と発信力の強化	政策 9 → 政策 10 に移動	・産業振興の政策として、分類するのが適切。	ご意見のとおり修正	商工政策課 モノづくり振興課
98	13 政策 10	○ワーケーションの推進	削除	ワーケーションは、シガリズムの推進の一環として推進するものであり、他に掲げられた政策と比較して小規模であるため。	ご意見のとおり修正	観光振興局
99	13 政策 10	コロナ禍からの経済回復と活力づくり		・コロナからの経済回復と活力づくりは、産業全体に係るものであり、特に政策 9 は包含される。 ・政策 9 と 10 を区別する基準はどこになるのか？例えば中小企業活性化基金の活用による支援は当然のことながら政策 9 にも大きく関わる。	もとの政策 10 のうち中小企業支援等にかかる施策を移動させ、残る施策の柱をまとめて「政策 9 滋賀らしいツーリズム(シガリズム)の推進と地域の活力づくり」に修正。	環境政策課

100	14 政策 11	政策 11 <u>力強い農林水産業の確立</u>	政策 11 <u>持続可能な農林水産業の確立</u>	施策の展開に合わせた修正 目指す方向性も修正が必要	ご意見のとおり政策の柱を修正。また施策の展開にあわせて目指す方向性を修正	農政水産部
101	14 政策 11	力強い農林水産業の確立	強い農業というより、持続可能な農業と私たちは言っている。・物価高騰、飼料・資材も高騰。飼料自給率上げていく取組、地域循環するのが理想。		ご意見のとおり修正	基本構想審議会 (高橋佳奈委員)
102	14 政策 11		(進行管理にある) 事業にオーガニック取組面積(水稲)とあるが、水稲に関わらず有機 JAS 認証とっている割合にするとよいのでは。また JAS 認証取得していない農家でオーガニック農業をしている面積の割合なども出せるとよい。		今後、具体的な事業や目標を設定する際に反映できることがあるか検討	基本構想審議会 (高橋佳奈委員)
103	14 政策 11	○ <u>農業のスマート化と六次産業化</u>	○ <u>農林水産業の担い手の確保・育成</u>	政策9から移動 「農業・水産業基本計画」に合わせた変更	ご意見のとおり修正	農政水産部

104	14 政策 11	○ <u>マーケットインの視点による農林水産業の展開</u>	○ <u>需要の変化に応じた農林水産物の生産振興</u>	「農業・水産業基本計画」に合わせて表現を変更	ご意見のとおり修正	農政水産部
105	14 政策 11	○ <u>農林水産物のブランド力強化と販売促進</u>	○ <u>「滋賀の幸」のブランド力向上と消費拡大</u>	「農業・水産業基本計画」に合わせて表現を変更	ご意見のとおり修正	農政水産部
106	14 政策 11		琵琶湖の魚をもっと PR してもらえると嬉しい		施策の展開に「「滋賀の幸」のブランド向上と消費拡大」を。	基本構想審議会 (今井委員)
107	14 政策 11		新規就農や半農半 X を支えることもあるとよい。		(修正ではないが) 広い意味で「農林水産業の担い手」に含まれるか	基本構想審議会 (檀原委員)
108	14 政策 11	(「施策の展開」に項目を追加)	○ <u>農林水産業におけるグリーン化の推進</u>		ご意見のとおり修正	農政水産部

109	14 政策 12	○「琵琶湖システム」の発信強化	○世界農業遺産「琵琶湖システム」の次世代への継承		ご意見のとおり修正	農政水産部
110	14 政策 12	(「施策の展開」に項目を追加)	○農林水産業における気候変動への対応	「農業・水産業基本計画」に合わせた変更	ご意見のとおり修正	農政水産部
111	14 政策 12	(「施策の展開」に項目を追加)	○堆肥等の未利用資源の地域内循環の推進	「農業・水産業基本計画」に合わせた変更	ご意見のとおり修正	農政水産部
112	14 政策 12	環境負荷の低減と地域循環型社会の構築 廃棄物の発生抑制や適正処理等により、環境負荷の低減と人々が安心して暮らせる生活環境づくりを目指す。	廃棄物の発生抑制や再使用等、さらには資源の有効活用により、一方通行型の経済社会活動から、持続可能な形で資源を利用する循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行を目指す。	・3Rのうち、2Rに重点を置いた施策を進めているため。(発生抑制(リデュース)と再使用(リユース)) ・原案だと廃棄物行政のみの記載となるため、方向性にサーキュラーエコノミーを追加。	ご意見のとおり修正	環境政策課
113	14 政策 12	施策の展開の「地域循環型エネルギーの創出と活用」		・地域循環型エネルギーの創出と活用は、具体的に何をイメージしているのか？ ・受ける部局は総合企画部か？	削除(サーキュラーエコノミー等の記載とも重複するため)	環境政策課

114	14 政策 12		物価高騰、飼料・資材も高騰。飼料自給率上げていく取組、地域循環するのが理想。		政策の展開に「堆肥等の未利用資源の地域内循環の推進」を追加	基本構想審議会 (高橋佳奈委員)
115	14 政策 13	政策 13 琵琶湖を守る・活かす	琵琶湖を守る・活かす・支える	琵琶湖保全再生計画でも環境総合計画でも、これまでから3本柱。	ご意見のとおり修正	環境政策課
116	14 政策 13	MLGs の推進	(MLGs は施策の展開レベルにあるが) MLGs には、生物多様性なども含まれるので書き方が難しい		ご指摘のとおりではあるが、MLGs の周知・浸透等を引き続き実施するため、原案のまま施策の展開の一つに記載	基本構想審議会 (平山委員)
117	14 政策 14	政策 14 多面的価値の継承	多面的価値の発揮	・単なる継承ではない。 ・新たな価値の創造も含めて発揮。	ご意見のとおり修正	環境政策課
118	14 政策 14	多面的価値の継承	多面的価値の継承と「創造」がよいのでは。	継承だけではないので。	「多面的価値の発揮」に修正	基本構想審議会 (檀原委員)
119	14 政策 14	施策の展開の「森林資源の循環活発化…」	主伐再生林による森林資源の循環促進	・循環を活発化するの日本語として違和感あり。	ご意見のとおり修正	環境政策課

120	14 政策 14	●農山漁村の持つ役割や価値が見直され、多様な主体が協働することで持続可能な形で多面的機能が発揮されるよう、地域資源を活用した <u>仕事づくり</u> や <u>交流等</u> の取組を支援する。	●農山漁村の持つ役割や価値が見直され、多様な主体が <u>連携・協働</u> することで持続可能な形で多面的機能が発揮されるよう、地域資源を活用した <u>地域の活性化</u> の取組を支援する。	「農業・水産業基本計画」に合わせて表現を変更 「仕事づくり」まで踏み込まない。	ご意見のとおり修正 ※「支援」は「促進」に修正	農政水産部
121	14 政策 14	地域資源を活用した仕事づくりや交流等の取組を支援する。	地域資源を活用した仕事づくりや交流等の取組を促進する。	他の個所と比較して、この箇所だけ支援すると限定的な表現のため。	ご意見を踏まえ、「支援」を「促進」に修正	環境政策課
122	14 政策 14	○ <u>農山漁村の活性化</u>	○ <u>多様な主体が連携・協働した地域資源の保全・活用</u>	「農業・水産業基本計画」に合わせて表現を変更	ご意見のとおり修正	農政水産部
123	14 政策 14	農山漁村の活性化	「農山漁村」⇒「農山村」 あるいは 「やまの健康 2.0」の文言をタイトルではなく「目指す方向性」か「施策の展開」の項目で記載	「やまの健康」では漁村は想定していない（中山間地域を想定）。	「やまの健康 2.0」をタイトルから削除し、施策の展開に。 また「農産漁村の活性化」は「多様な主体が連携・協働した地域資源の保全・活用」に修正	環境政策課 森林政策課

124	16	○企業（人）の支援	○起業の支援	誤字および（人）の削除。	ご意見のとおり修正	商工政策課
125	17	CO ₂ ネットゼロ社会の実現	メガソーラーに危機感。実は環境を破壊していないか。自然は一度壊れたら取り戻せない。本当のインフラは自然。		（修正でないが）CO ₂ ネットゼロの計画の第4の中に「大規模発電施設開発時における環境や景観への配慮」を記載している	基本構想審議会 （水野委員）
126	17	滋賀県DX推進戦略実施計画 ○基盤づくり、ひとづくり	滋賀県DX推進戦略 ○基盤づくり ○ひとづくり	実施計画よりも、その上位の戦略を記載した方が適切なため 滋賀県DX推進戦略の表現と整合を図るため	ご意見のとおり修正	DX推進課